

事業が完了した組合の紹介

事業を完了して

恵那市大崎土地区画整理組合

理事長 伊藤正幸



1 位置と目的

本地区は、恵那市の中心市街地に隣接した地区で、JR 恵那駅より南、0.4km 恵那市役所より西へ0.1km、南は国道19号に接した位置にあり、地区内には都市計画道路が4路線通り、また他の1路線に接する恵那市のまさに中心となる地域であります。

「産業・文化・観光都市として、豊かで活力ある健全な市街地の形成を目指す」を目標に、長年の懸案である、雨水排水対策や交通渋滞緩和をはかるため事業が立ち上りました。

2 設立までの経緯

当地区は、中心市街地に接しているため平成2年4月に用途地域に編入されたのを契機に急速に宅地化が進んでおり、特に排水施設の整備が緊急を要するため、中心市街地の拡大地区と位置づけ効率的に都市施設を整備すべく、平成11年に大崎土地区画整理組合設立準備委員会を発足させ、平成13年10月28日に設立総会を開催しました。

3 事業の概要

土地区画整理事業の名称	恵那都市計画事業大崎土地区画整理事業
施行者の名称	恵那市大崎土地区画整理組合
施行地区面積	19.3ha
総事業費	3,265百万円
国庫補助金	1,769百万円
保留地処分金	1,115百万円（約91,400円／ha）
事業施行期間	平成13年度～平成23年度
設立総会組合員数	144人
整理後公共用地率	25.7%
合算減歩率	18.7%
ha当たり事業費	16.9百万円／ha



施行前 平成 14 年（2002 年）



施行後 平成 23 年（2011 年）

4 おわりに

国内外の社会情勢や財政状況の厳しい状況下で組合を立ち上げ、実に 12 年間余りの歳月を経過し、この事業を完成させることができました。

土地区画整理事業は組合員にとっては大変な不安と心労が伴う事業でした。

本事業により日常生活の中で不便で危険な生活道路も機能的に整備され、緊急車両の進入、人や車の通行が安全に確保され、地域住民の安心安全な環境作りに貢献することができました。

完了を迎えることが出来たのも役員と組合員の皆様と関係各位のご尽力の賜であると心より敬意を表します。

区画整理事業により地域は大きく変貌し今や、恵那市の表玄関として多種多様な店舗や建築物が林立し、新たに区域内に建設された「恵那市中央図書館」は市民の憩いの場としてはもとより市外からの利用者も多く恵那市の文化・教育の向上に役立っています。

今後の恵那市のますますの発展と岐阜県都市整備協会の会員の皆様のまちづくりが順調に推移されますことを祈念してあいさつとさせていただきます。